

演劇

ワークショップ

# マームとジプシー・藤田貴大 地図のワークショップ

「今朝、最初に話した人は？」「会場までの道のりは？」藤田貴大がワークショップ参加者へインタビューをしながら、全員でそれぞれの風景を再現していきます。最後には、再現されたシーンを藤田が構成し、みんなで小さな演劇作品を発表します。演劇未経験者大歓迎！

2023年 **12月2日** 土 13:00 ~ 17:00

講師

藤田貴大 ほか

会場

京都芸術大学内 教室

京都市左京区北白川瓜生山 2-116

対象

小学3年生以上（保護者同伴可）～年齢上限なし

参加料金（税込）

一般 500 円／瓜生山学園生 無料

申込方法

下記申込フォームよりお申込ください。



申込受付期間：

2023年 11月 6日（月）10:00

～ 11月 20日（月）17:00

定員：20名（応募者多数の場合は抽選）



## 藤田貴大（ふじた たかひろ）

マームとジプシー主宰、演劇作家。2007年、マームとジプシーを旗揚げ。以降全作品の作・演出を担当し、演劇作品を発表。象徴するシーンのリフレインを別の角度から見せる映画的手法が特徴。2011年、三連作『かえりの合図、まったた食卓、そこ、きっと、しおふる世界。』で第56回岸田國士戯曲賞を26歳で受賞。今日マチ子の同名コミックを原作とした舞台『cocoon』（2013年初演、2015年再演）の演出で第23回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。2018年秋には「ジャポニスム 2018」公式企画として『書を捨てよ町へ出よう』（寺山修司作）をフランス・パリで上演。今もっとも注目を集める若手演劇人のひとり。京都芸術劇場では一般参加型企画『A-S』（2016年）、『madogiwa』（2019年）、『待ち合わせていた風景を記録する』（2021年 / WEB公開）、『川を渡る』（2022年）やマームとジプシーとしての公演『めにみえないみみにしたい』（2019年）、『cocoon』（2022年）を上演。